

第3回 福祉、教育等との連携による障害者の就労支援の推進に関する研究会

# 滋賀県障害者雇用支援センターにおける 支援の現状と課題

明日にかける橋



(財)滋賀県障害者雇用支援センター  
主任指導員 林 博之

teamwork

# 障害者雇用支援センターの本来機能

-障害者の雇用の促進等に関する法律28条-

1. 支援対象者に対して、その障害の種類及び程度に応じ、必要な職業準備訓練を行うこと。
2. 前号の職業準備訓練を受けた後、職業に就いた支援対象者に対して、必要な助言その他の援助を行うこと。
3. 第1号の職業準備訓練を受けた支援対象者を雇用し、又は雇用しようとする事業主に対して当該支援対象者の雇用に必要な障害者の雇用管理に関する事項について助言その他の援助を行うこと。
4. 支援対象者の通勤への同行その他の支援対象者が職業に就くことに伴い必要となる介助等の支援を行う者（以下この条において「障害者雇用支援者」という。）に関する情報を収集し、及び整理すること。
5. 第2号及び第3号に掲げるもののほか、事業主・支援対象障害者その他の関係者に対して、前号の規定により収集し、及び整理した障害者雇用支援者に関する情報を提供すること。
6. 障害者雇用支援者に対して、第4号の支援を適切に行うために必要な知識及び技能を習得させるための研修を行うこと。
7. 全各号に掲げるもののほか、支援対象者がその職業生活における自立を図るために必要な業務を行うこと。

# 滋賀県障害者雇用支援センター概要

## <沿革>

平成6年11月・・・滋賀県及び大津市・草津市・守山市  
志賀町・栗東町・中主町・野洲町(当時)により財団法人設  
立

平成6年12月・・・「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく  
「障害者雇用支援センター」として県知事の指定をうける

平成7年 6月・・・対象者にかかる職業準備訓練開始

## <訓練定員>

20名

## <訓練期間>

1年間(訓練の状況により最長2年間)

随時入所、随時退所

## <職員体制>

所長 1名 指導員 3名 嘱託指導員 1名

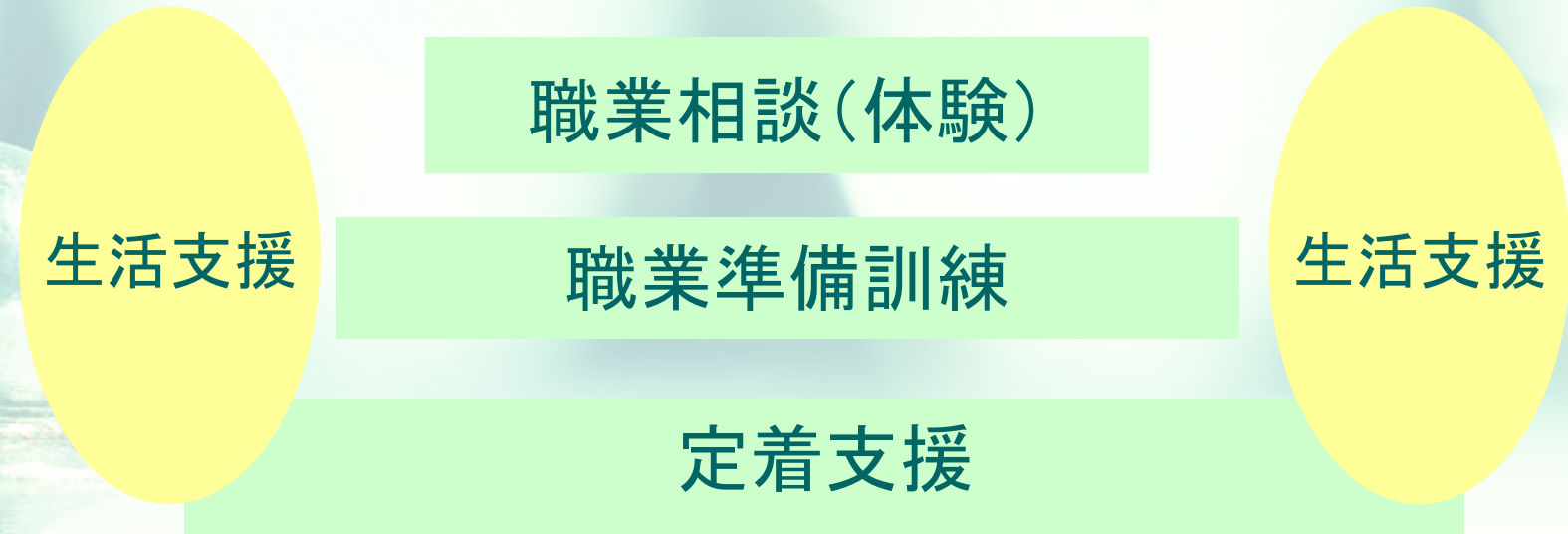
事務兼指導補助 1名 ジョブコーチ 1名 嘱託医(非常勤) 1名

# 指導員の資質向上の為の研修会等

- 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構の実施する就業支援担当者研修、スタッフリーダー研修に派遣
- 精神保健福祉業務従事者研修
- 滋賀障害者職業センター研修の受講
- 発達障害者支援センター主催「自閉症の人への就労支援スタッフ養成研修」の受講
- SST経験交流ワークショップ「就労支援のためのSST」への参加
- SST普及協会認定指導講師による講習会「SSTファーストレベル」の受講
- 自閉症支援のためのトレーニングセミナーの受講
- 滋賀県中堅職員の政策研修
- その他障害者支援、就労支援に関するセミナー・フォーラム・勉強会への参加



# 業務の流れ



職業相談…一般相談、入所相談、入所までの間の行き先連携

職業準備訓練…施設内・外で就労のための基礎を身につけ、  
本人が働きやすい環境を模索

定着支援…事業所や本人に対し、就労を継続させるための支援

生活支援…上記の期間、身だしなみや金銭管理、手帳の取得、  
通院等必要な事柄について支援



# 職業準備訓練

支援センターでは、土・日・祝日を除く、平日の午前9時～午後4時までの間、職業準備訓練をおこなっています。(随時入所・最長2年間)

A.

## 施設内訓練

- ・一般事業所から受注される作業を通して職場でのマナーやルールを習得
- ・フリートーチキング(SST)で自主性を高め、自己肯定感を得る
- ・面談

## 職業準備訓練

B.

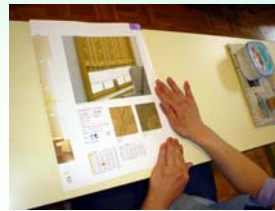
## 施設外訓練

- ・社会見学/工場見学
- ・調理実習/余暇活動
  - ・企業内訓練
  - ・職場実習



# A.施設内訓練

企業からの受託作業を通して、働くための基礎を身につけ、グループ学習の一環であるフリートキングにより「こういうときどうすればよいか？」という具体的な対処方法を学びます。



フリートキング風景

個人に合わせたカリキュラムを作成し、得意な部分を伸ばし苦手な部分を補えるようにします。

実際に困ったこと等を抽出、ロールプレイ、実践をします。

# (例)面談ノート

2006年3月 日 面談(めんだん) Mさん

今日の面談で話し合うこと

1. ステップ表について (自分でつけてみよう)

2. 2月の目標は何でしたか?

3月は・・・

に変更する + これまでと同じ

3. 先日、Tさんとの面談を行いましたね。そのときに入浴についての話が出ていたと思います。どのくらいの頻度で入浴するかを自分で決めておくと、目安がわかって忘れず入浴できるかもしれません。一度自分で頻度を決めておきましょう。

夏の時期 ( 月～ 月) については \_\_\_日に1回入浴

冬の時期 ( 月～ 月) については \_\_\_日に1回入浴

4. 作業分析について

これまでセンター内での作業について、どんな作業なのか?や感想などを書いてもらってききましたが、結構いろんな仕事ができていることに気づきますね。これまで書いてきたものに目を通してどの作業にやりやすさを感じましたか? (複数回答可)

5. 最近嬉しかったことや楽しみにしていることは何ですか?

6. 困っていることは何ですか?



## 事業所見学



今、一緒に個別学習を行ってきていますが、内容を覚えていますか? シリーズ2 ではどのような人が採用されやすいか勉強しました。シリーズ3 では、採用されやすい「やる気のある人」とはどんな人かというのを具体的に勉強しています。

今まで勉強してきた「採用されやすい人」というのがどういう人なのか、実際に事業所で働いている修了生を訪ねてみましょう。

今回協力して頂く 事業所の名前は

協力して頂く 人の名前は

さん

さん

です。

どのような仕事をしているのか見てみましょう。

この会社では、コンビニエンスストア向けのお弁当の製造や販売を行っています。(おにぎりやお弁当、サンドイッチなど)

そこでは、

- ① ベルトコンベアで流れてきたおにぎりに種を入れたり、のりを巻いたり、おかずを詰める場所
  - ② 材料を入れた箱を洗う場所
  - ③ 菌がないか検査する場所
- などがあります。



# B.施設外訓練

施設外訓練では、学習活動の他、企業内訓練にて実際の職場でグループによる(指導員引率)作業を行い、就労意欲を高めめます。

企業内訓練



## 学習活動

- ・ 社会見学
- ・ 調理実習
- ・ 余暇活動など

# 実習支援

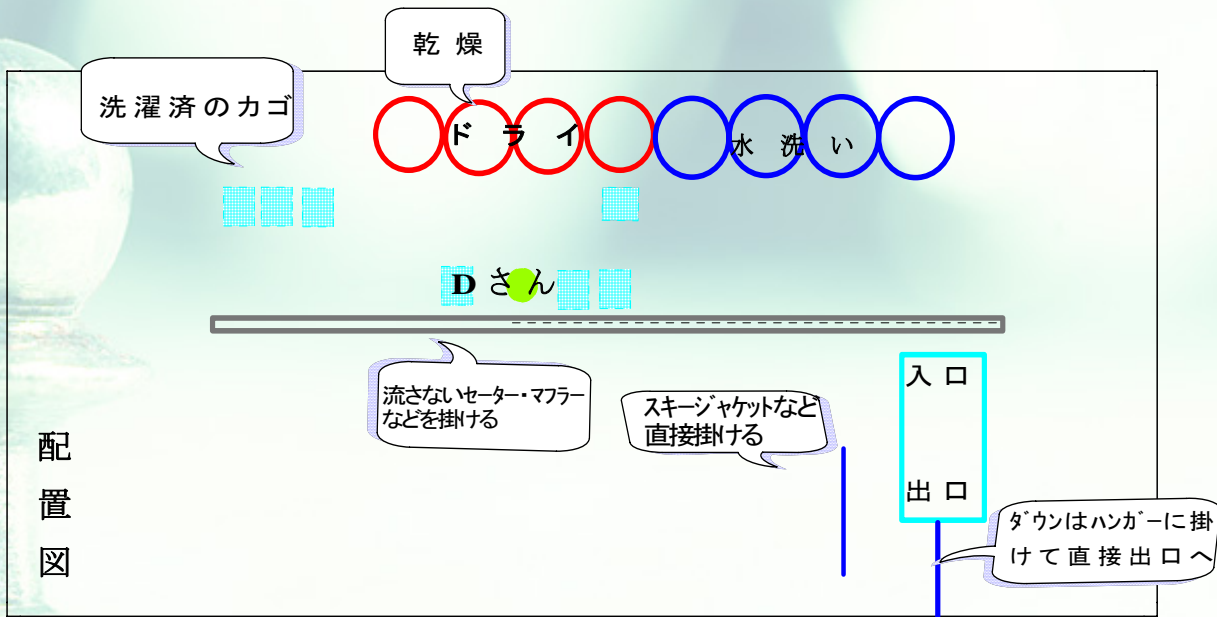
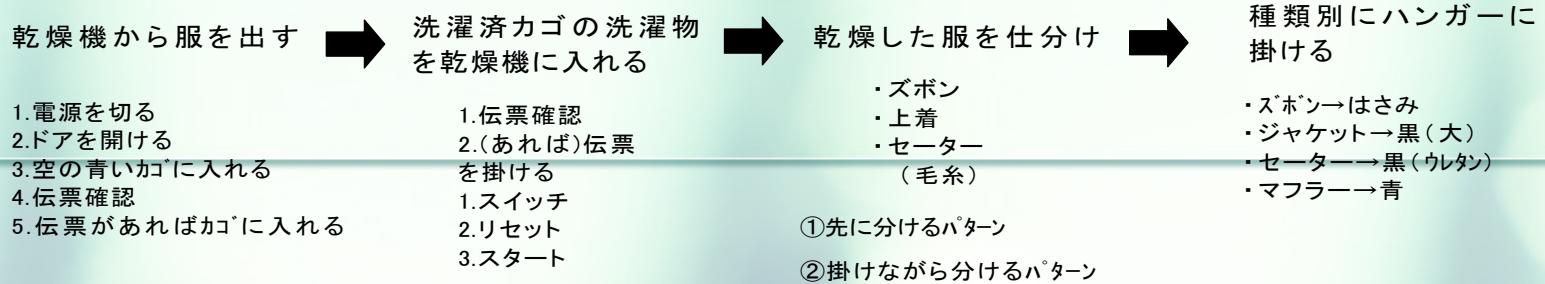
- 事前に職員が作業を体験。作業内容の把握、環境面の確認等を行う。
- 実習の前に作業の手順書等を作成し、事前に練習を行うことにより不安軽減につとめる
- 事業所の方に本人の特性を理解していただき、対人面での橋渡しを行う

# 雇用を目標とした実習の流れ

## (例) クリーニング工場での実習

1. 職員が見学を行う(安定所と一緒に開拓)
2. 本人と一緒に見学を行う
3. 職員が作業の体験を行う(手順書の作成)
4. 施設内で作業に合わせた内容の練習を行う
5. 実習開始
6. 実習の内容について振り返り、次週の目標設定

# 基本的な流れ



(3/6に教えてくれた方)  
 I社長  
 N工場長  
 始めに案内してくれた…Mさん  
 一緒に作業をした女性…Oさん

(トイレの行き方)  
 1. 誰か側にいれば…  
 「トイレに行ってきます」  
 2. 誰もいなければ…  
 報告なしで行って下さい。

(質問の仕方)  
 1. 「これはどこに掛けたらいいですか」  
 2. 「これはどのハンガーを使ったらよいですか」



# 定着支援



- 支援計画の策定  
作業面での不安改善  
対人面の把握  
事業所との関係調整  
本人の相談

など

- OB会（休みの国）の実施

OBが中心となり、月に一度交流を行う（17年度参加者のべ277名）



# 業務実績について(H7.6～H18.9末)①

## ■ 正式利用者…145名

障害別→身体13名、知的120名、精神12名

入所経路別→職業センター63名、直接24名、職安17名、  
福祉施設15名、教育12名、行政等5名、その他9名

年齢別→10代30名、20代78名、30代30名、40代7名

## ■ 修了者…128名

平均訓練期間→11.7ヶ月

進路先→一般企業等99名

→授産施設、作業所等15名

→在宅等14名

## 業務実績について(H7.6～H18.9末)②

- 就職者数…99名

障害別→身体7名、知的85名、精神7名

- 就職率…77.3%

- 定着率…64.6%

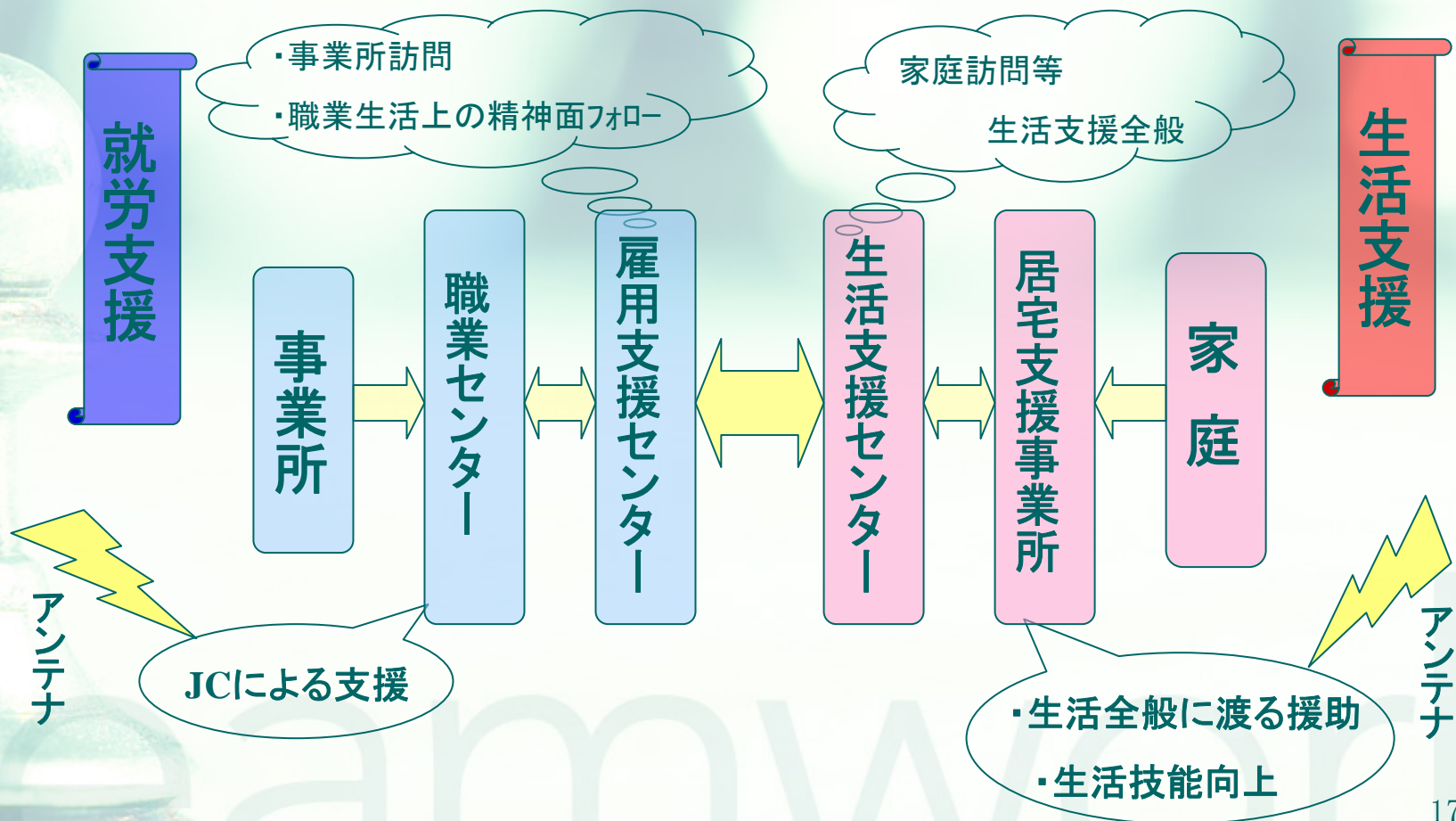
# 具体的業務の件数(H15～H17)

	H15	H16	H17
訓練実施日数	239日	228日	221日
外来相談件数	45件	51件	68件
実習・体験受入件数	104件	84件	71件
実習支援件数	93件	87件	111件
定着訪問件数	119件	152件	249件
職場開拓件数	93件	93件	46件
就職者数	17人	12人	13人



# 関係機関との連携…例1

## 療育手帳B(自閉症・筋ジストロフィ・てんかん)のケース



# 関係機関との連携…例2

精神保健福祉手帳(アスペルガー症候群)のケース



# 教育・福祉との連携

県内の学校向けの実習  
(受入枠1名)

正式入所を希望される  
方に3日間の体験  
(受入枠1名)

盲・聾・養護学校

福祉施設

正式入所向け  
(所属機関問わず)

作業所や就業・生活支  
援センターからの実習  
(受入枠1名)

# 地域の関係機関との連携 まとめ

それぞれの分野で支援をお願いすることで各機関抱え込まずに済み、より良い支援を検討することができる



支援センターの訓練期間中に必要な関係機関を探りながら  
本人に必要なサービスを模索することが可能



# ボランティアの育成①

ボランティア研修の実施(年2回)

H17年度 第1回 グループワーク「実際に働いてみて」

参加者 17名

…当センター修了生ゲスト、その後懇親会

第2回 グループワーク「障害について」

参加者 8名

…「障害」とはなんだろう

H18年度 第1回 講義「発達障害について」

参加者 14名

…講師を招いて学習会

第2回 講義「精神障害について」

…講師を招いて学習会 (予定)

# ボランティアの活動②

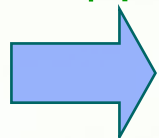
## ボランティア活動の主な内容

生け花、サロンや社会活動等の参加

H17…登録者58名、活動人数のべ72名

## ボランティア研修の要望から

- ・「どのように接したらよいか分からない」
- ・「障害について詳しく知りたい」



接することに対しての不安が大きい

★現状では具体的に「通勤支援」等に行っていない。

行うのであれば本人の詳しい状況等伝える必要があると思われる。

# 今後の課題

## 滋賀県障害者雇用支援センター運営検討委員会

(H16～H17まで所内検討も含め12回開催)より

- ・ このままの職員体制では支援の内容を維持できないこと
- ・ 生活支援の必要性が高いこと
- ・ 圏域の問題(指定地域外からの利用者・または希望が多い)

→就業・生活支援センター(働き・暮らし応援センター)  
の併設が有効ではないか  
...地域・県・市行政で検討中

# 就業・生活支援センター（働き・暮らし応援センター） 併設の利点

H14.11～H16.3月まで

滋賀県緊急雇用創出特別対策事業として

**「障害者雇用推進員設置事業」**

**「障害者雇用支援ワーカー設置事業」**を受託

雇用推進員...事業所訪問件数 3041件（過去3年）

雇用支援ワーカー...福祉施設訪問件数 518件（過去2年）

併設することにより・・・

- ・相談→訓練→就職→定着支援・生活支援まで一貫した支援が可能
- ・雇用支援センターが培ってきたノウハウを直ちに活かすことが出来るため  
スムーズかつ効率的
- ・併設によりスケールメリットが活かせる
- ・立地面から利用しやすい・・・等



# 障害者雇用支援センターの 成果をどう捉えるか

就労移行支援の図...

「これは雇用支援センターがやってることでは？」

しかし、どこにも障害者雇用支援センターの名は見当たらない

「もしかして障害者雇用支援センターのことを知らないのでは？」

**就労移行支援型と住み分けを考えるのか**

OR

**就労移行支援型に一本化するつもりなのか**

雇用支援センターは間違いなく成果をあげている。

しかし、同じシステムで有りながら、経費や体系は全く違う。

より障害者の就労支援を進めるのであれば果たして同じことをするのがベストなのか、見通しは立っているのか。